

## 臺灣 嘉義新港奉天宮交流 95 周年記念訪問団

7月9日、コロナ禍で来日がかなわなかった一行46名が靈雲院を訪問されました。管長猯下、会長老師はじめIZEFA役員一同が一行を出迎えました。交流式典は10時より始まり、先ず媽祖様の換袍（お着替え12年毎）が行われ、続いて何達煌奉天宮理事長、黄文亮奉天宮総裁ら3名が上香、献供、礼拝を行い、日本側も礼拝、諷経で媽祖様にご回向申し上げました。続いて小倉管長猯下より歓迎のお言葉を賜り、何理事長からは交流再開12年を振り返るご挨拶を頂きました。祝電披露の折、中華民国蔡英文総統からの賀電（祝電）が披露されました。



### 總統賀電

財團法人嘉義縣新港奉天宮何董事長達煌、日本臨濟宗大本山妙心寺靈雲院住持則竹秀南暨全體與會人士公鑒：

欣悉訂於本(112)年7月9日舉行「新港奉天宮、京都妙心寺締緣交流 95 週年紀念式」，特電致賀。至盼廣續踐履抱負為懷宏旨，豐厚宗教信仰內涵，引領民眾同心向善，匯集多元正向能量，攜手為營造平和理性之美好家園貢獻心力。敬祝活動圓滿成功，諸位健康愉快。

蔡 英 文

中華民國 112 年 6 月 27 日

記念品交換では奉天宮からは妙心寺と靈雲院に香炉が贈られた。



法要式典後ブライトンホテルに移動し、歓迎祝宴が行われた。先ず会長老師から歓迎の挨拶があり、今までの交流に謝意を表

すと共に、今後の末長い親善交流が益々発展継続出来るようにと挨拶された。



引き続き当会理事、瑞龍寺・土方義道師と奉天宮・黄文亮総裁ご兩人による乾杯の発声があり、祝宴は盛り上がった。